

グラデュエーション・ポリシー

【目指す人材育成像】

素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、
 自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材
 のもと、以下の資質・能力の涵養を目指します。

① 多様性を尊重しながら究めた強みを活かすことで、
社会を生き抜く生徒

(人間関係形成能力：自己・他者理解、協力・共同)

② 就労への感謝と向上心を忘れず、全力で役割を全うすることで、
社会をつなぐ生徒

(情報活用能力：役割の理解と働くことの意義)

③ ワークライフブレンドを実現し人生を楽しみ輝くことで、
社会を明るくする生徒

(将来設計能力：夢や希望、いきがい・やりがい)

(意思決定能力：目標設定と適切な進路選択、自己評価と自己調整)

※「特総研によるキャリア発達の観点」より

★社会を生き抜き、つなぎ、明るくする生徒＝「この子らを世の光に(糸賀一雄)」の実現

カリキュラム・ポリシー

【教育目標】

究める 一人一人の「好き」「得意」を見付け、
 プロフェッショナル(職業人)を育てる
 活かす 究めた力を活かし、社会に貢献できる生徒を育てる
 輝く 自分の得意を活かして社会で活躍し、輝き続ける生徒を育てる

のもと、以下の3観点を基にした教育課程を編成し、学校活動を展開します。

- ① 学習指導…「好き」「得意」を究められるよう、アセスメントに基づく
 個に応じた“技能と心”の指導(トライアル学習と4つの専門コース)
- ② 進路指導…究めた力を活かせるよう、適性やニーズに応じた現場実習と
 職業指導(プレトレーニング、プロフェッショナルトレーニング、デュアルシステム)
- ③ 生活指導…社会で輝けるよう、「生きる力」の醸成を目指し、教科学習
 を汎化、反復できる機会(販売会、生徒会、文化祭、寄宿舎生活)

アドミッション・ポリシー

- 素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続ける生徒
- 主体的に考え、行動し、成長することを目指している生徒
- 自分の「好き」を究めるよう、学ぶ意欲を持っている生徒